目黒区議会議員

金井ひろし レポート 区政活動報告

District Administration Report & Activity Report

No.30



- 議会運営委員会の副委員長に就任
- 常任委員会は「生活福祉委員会」
- アジの干物に目覚めました
- 災害募金活動のおはなし
- 宮本なおみさんご逝去

〒152-0032 東京都目黒区平町 1-21-20-303
TEL 080-5195-2909
E-mail：kanai.hi64@gmail.com

議会運営委員会の副委員長に就任

レポートの発行が遅くなり、大変申し訳ございません。今年度は、目黒区議会の会派構成が大きく変化しました。私たちの会派には新たに、こいでまあり議員が加わりました。一方、めぐろの未来をつくる会では会派を離れる議員が出て５人となり、フォーラム目黒（立憲民主・無所属の会）５人、公明党５人と合わせて、第二会派が三会派並ぶ体制となりました。こうした新たな勢力図のもと、協議を重ね、「副議長」「監査委員」「議会運営委員会副委員長」などの役職が決定し、私も議運副委員長を拝命いたしました。

就任から三か月余りが経ちますが、議長・副議長・議運正副委員長が一体となって動くという独特の役割分担は、これまでの委員会とは感覚が異なり、当初は戸惑いもありました。しかし、日々の協議や運営を通じて、徐々にその役割の重さと意義を理解しつつあります。

昨年度は企画総務委員会の副委員長を務め、幹事長として議運にも所属していたため、非常にハードな一年でした。その中で、通常の議運に加え「改革」の議会運営委員会が設置され、議会内で見直すべき事項や新たに検討すべき課題について、年間を通じて活発な議論が行われました。

これまでに決定した事項として、本会議の字幕配信、主権者教育（高校生向け）の実施、委員会資料の前日公開、順次ペーパーレス化など、議会の透明性向上と住民参加の促進に資する取り組みが進められています。現在は、委員会のライブ配信や、本会議一般質問・代表質問の「質問通告」の傍聴者への配布など、さらなる改善策について議論を重ねているところです。

任期のラストイヤーとなりますが、議会改革を着実に前へ進めるため、議運副委員長として責任をもって取り組んでまいります。



徒然トーク

昨年度、議会運営委員会のメンバーとして三次市議会を視察しました。現地では、市民と議会の距離を近づける工夫が随所に見られ、特に印象に残ったのが、議員自身が選挙公約の達成状況を毎年ふり返り、公開している仕組みでした。活動を「見える化」することで、市民にとって議会がより身近になると感じました。

一方で、選挙が終わると公約のふり返りが十分に行われないことが、地方議会では少なくありません。公約は選挙のときだけの約束ではなく、任期の中で育てていくものだと、今回の視察を通じて改めて考えさせられました。

目黒区議会でも、本会議の字幕配信や委員会資料の前日公開など改革を進めています。今後は、公約達成状況を分かりやすく示す方法など、区民の皆さんに議会の動きをより伝えられる仕組みづくりにも取り組んでいきたいと思います。

今回のレポートは三次市議会の快諾を頂き、別ページで作成してみました。どうぞご覧ください。

常任委員会は「生活福祉委員会」

常任委員会は「生活福祉委員会」です。私は、議員１期目の１年目以来の所属となり、久しぶりの復帰となりましたが、改めてこの委員会の大切さを強く感じています。生活福祉委員会は、区民の暮らしに最も身近な分野を扱い、児童福祉・高齢福祉・障害福祉の三福祉に加え、産業・経済、地域の働く環境など幅広い領域を担当しています。

とりわけ私は障害福祉を専門としており今も介護福祉士として働いていることから、当事者の方が安心して暮らせる環境づくりの重要性を強く感じています。余暇支援も重要なテーマです。

児童福祉では保育、学童保育クラブの待機児解消や子育て支援、高齢福祉では介護サービスの質向上や地域包括ケアの推進など、いずれも区民生活に直結するテーマであり、委員会として丁寧に議論を重ねることが欠かせません。

生活者の視点を忘れず、地域の実情に合った政策を進めていくことが、この委員会の大きな役割です。再び所属するにあたり、区民の声をしっかり受け止め、政策として形にしていく責任を改めて感じています。今後も真摯に委員会活動に取り組んでまいります。



誰もがともに学び、育ち、「共に生きる！」
Create a society where everyone can learn and grow together and realize “unity in diversity”.
누구나 같이 배우고, 성장하고, 「같이 사는 세상！」 ／ 全员互助互学，共同成长，实现“共生向荣”
立憲民主党
答え・1,620円(税込)

アジの干物に目覚めました

私の趣味は釣りです。季節ごとに魚の表情が変わるのが面白く、つい海へ足が向いてしまいます。最近は釣ったアジを自宅で干物にすることに目覚めました。塩の加減や干す時間で味が驚くほど変わり、仕上がりの違いを楽しむのが新たな楽しみになっています。自分で釣り、自分でさばき、自分で干す ── そんな小さな手間が、暮らしの豊かさを感じさせてくれます。



災害募金活動のおはなし

令和８年熊本県大地震に際し心よりお見舞い申し上げます。目黒区議会では超党派で災害募金活動を実施いたしました。全国的にも議会が会派を超えて募金を行う例はほとんどなく、区民の皆さまの温かいご協力に深く感謝申し上げます。８月５日（水）17時から18時にかけて、中目黒駅・学芸大学駅・都立大学駅・自由が丘駅で募金を行い、合計546,720円のご支援をいただきました。お寄せいただいた善意は、被災地支援のため責任をもって届けます。心より御礼申し上げます。



宮本なおみさんありがとう

2026年7月10日、宮本なおみさんが90歳でご逝去されました。地域の子どもたち、そして社会の中で声を上げにくい人々のために生涯を捧げてこられたその歩みに深い敬意を表し、心より哀悼の意を捧げます。議員として、また地域の一員として長年にわたりお世話になった者として、胸に迫る思いでこの追悼の辞を記します。

1971年に初当選されて以降、なおみさんは目黒区議会議員として五期二十年にわたり、子育て支援、教育、福祉、そして住民自治の充実に力を尽くされました。議会では常に生活者の視点を忘れず、「市民の政治とは何か」「自治とはどうあるべきか」を問い続け、制度の隙間に置き去りにされる人々に光を当てることを使命として歩まれました。時に一人であっても信じる道を進み、弱い立場の人のそばに寄り添い励ます姿は、多くの人に勇気を与えました。

私がなおみさんと出会ったのは、「金井闘争」と呼ばれた兄・金井康治の養護学校から地域の小学校への転校運動の最中でした。まだ小学校の低学年だった頃、わざわざ目黒から足立区まで通ってくださり、幼い私にも温かく声をかけてくださいました。今振り返っても、あの時のなおみさんの存在が、私の人生の方向を決める大きな支えになったと感じています。彼女が「目黒」への懸け橋をつくってくれたからこそ、今の私があるのだと、心から思います。

選挙の場面でも、なおみさんには多くを学ばせていただきました。私が初めて選挙に挑戦した2015年には、経験の浅い私を気にかけ、時に厳しく、時に優しく、選挙とは何か、政治とは何かを教えてくださいました。2019年に初当選を果たした際には、まるでご自身のことのように喜んでくださり、その笑顔を昨日のことのように思い出します。なおみさんの励ましがなければ、私はここまで歩んでこられなかったでしょう。

なおみさんの活動の原点には、子どもたちの育ちを社会全体で支えるべきだという強い信念がありました。その思いは「ひろば保育室」開設へと結実し、制度が十分に整わない時代にあっても、地域に必要な保育の場を自ら立ち上げ、多くの家庭に安心をもたらしました。保育の選択肢が限られていた時代に、なおみさんが示した行動力は、地域の子育て環境を大きく前進させるものでした。

それ以前には、障害児の入園差別と向き合い、誰もが地域で育つ権利を守るために粘り強く行動されました。行政や社会の理解が十分でない中でも、弱い立場の子どもと家庭に寄り添い、制度の壁を一つひとつ乗り越えていく姿勢は、多くの保護者に希望を与えました。また、地域の暮らしを守るために日照権運動にも深く関わり、住民の生活環境を守ることは自治の根幹であるとの信念から、丁寧に声を集め、行政に粘り強く改善を求め続けられました。

選挙人名簿漏洩事件では、住民の権利と選挙の公正を守るために毅然と行動し、情報管理のあり方を問い直す契機をつくりました。指紋押捺拒否闘争においても、個人の尊厳を守るために立ち上がり、制度の在り方を社会に問う姿勢は一貫していました。なおみさんは、どんな時も弱い者のそばに立ち、励まし、力となる存在でした。

今日、目黒区で子育て支援が広がり、多様な保育の選択肢が整いつつある背景には、なおみさんの長年の努力と情熱が確かに息づいています。地域の暮らしを守り、誰もが安心して生きられる社会をつくるという理念を、なおみさんは生涯を通じて実践されました。

宮本なおみさんの功績に深く敬意を表し、地域の未来を担う子どもたちと住民のために、私たちもその志を受け継いでいく決意を新たにいたします。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【宮本なおみさんお別れの会】

日　時：2026年11月1日(日)
14:00～16:00(受付13:30～)
場　所：緑ヶ丘文化会館(本館) 203号室
(東横線自由が丘駅徒歩7分)
費　用：3,000円
締切日：10月16日(金)



活動をまとめた
「革新無所属」



選挙では本当に
お世話になりました

こんにちは！金井ひろしです。
金井ひろしレポート No.31　2026年9月23日発行
編集発行人：金井ひろし　〒152-0032 東京都目黒区平町1-21-20-303
TEL：080-5195-2909　E-mail：kanai.hi64@gmail.com

facebook　twitter　Official Web Site　金井ひろし E-mail